

園だより 9月

令和 8 年 9 月 2 日
台東区立田原幼稚園
TEL 3842 - 6477



2学期の始まりです

園長 和田 万希子

このたびの熊本地震、千葉の豪雨により被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、今なお不安な日々をお過ごしの皆様の安全と、一日も早い復興、復旧を心よりお祈り申し上げます。

先日は台東区でもレベル 4 の大雨が降り、その日の夜中には震度 4 の地震が起こりました。あらためて、いつ起こるかわからない災害に備えることの大切さを感じています。

9月1日は防災の日です。台風や津波、地震についての認識を深め、災害に対する備えを怠らないように、と制定されました。防災の日を含む 1 週間は防災週間として、各地で訓練や関連行事が行われます。幼稚園でも“もしも”の時の被害を最小限にし、子供たちの命を守るために、備えをしっかりと行っていこうと教職員で再確認いたしました。ご家庭でもぜひこの機会に、“もしも”の備えについて話し合ってみてください。

夏ならではのワクワク体験

久しぶりに会った子供たちが「海に行って来たの」「おじいちゃんのうちでバーベキューしたの」「お友達と花火をしたの」と、この夏の楽しかったことを口々に話してくれました。

花火や、7月のナイトツアーのような、夜を楽しむ行事は、夏ならではです。自分の子供の頃の経験から考えても、普段なら家にいる時間なのに、友達と駆け回ったり一緒に花火をしたりできるこの“特別感”がたまらないですね。他にも、おじいちゃんおばあちゃんのおうちにお泊りする、川で泳ぐ、セミをとる、ビニールプールで遊ぶ、スイカを食べる、ラジオ体操をする、などなど、「夏」ならではの体験は、ワクワク感がいっぱいです。

以前、講演会で脳科学がご専門の大学教授のお話を伺ったのですが、その中で、『ワクワクしているときに、脳が一番働いていて、学びが大きくなる』ということをおっしゃっていました。この“ワクワク感”というもののの中には、「やってみたい」「おもしろそう」「できた！」「楽しい！」だけではなく、「できた！」に向かうまでの、「ちょっとドキドキする」「上手いかなかったな、じゃあもう一度」「次はどうしたらいいかな」などの、“不安感や失敗体験”なども含まれるそうです。確かに、幼稚園での子供たちを見ていると、自分からやりたい、と思って始めたことは、少しくらい難しくても何度もやってみようとし、失敗することを苦に感じず、かえって面白さを感じているように思います。また、「好きこそものの上手なれ」と言われるように、自分がやりたいと思っていることは上達も早いように感じます。大人が与えた課題ではなく、子供自身が興味をもったこと、子供が自分でやってみたいことを選び、ワクワクしながら取り組んでいく中で、“失敗を乗り越える力”や“知識・技能”などが、大きく育っていくのですね。

2学期も、「やってみたい」「おもしろそう」と子供たちが取り組みたくなる環境を用意して、ワクワク感いっぱいの生活を送れるようにしていきたいと思います。

まだまだ暑い日が続きます。保護者の皆様、地域の皆様も、十分ご自愛ください。そして、2学期も田原幼稚園の教育・保育へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。